



天文資料

2022年 1月号

令和3年度 第10号 (1月号)

令和3年12月27日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



<2022年最も遠い満月！>

ねんちゅうもく てんもんげんしょう
2022年注目の天文現象は、

しぶんぎざりゅうせいぐん まく あ
しぶんぎ座流星群で幕を開けます

ことし つきあ えいきょう
今年(ことし)は月(つき)明かり(あ)の影響(えいきょう)もなく、た

いへんよいじょうけんかんさつ
いへん(い)良い(よい)条件(じょうけん)で観測(かんさつ)ができると

よそうざりゅうせい
予想(よそう)されますが、しぶんぎ座流星

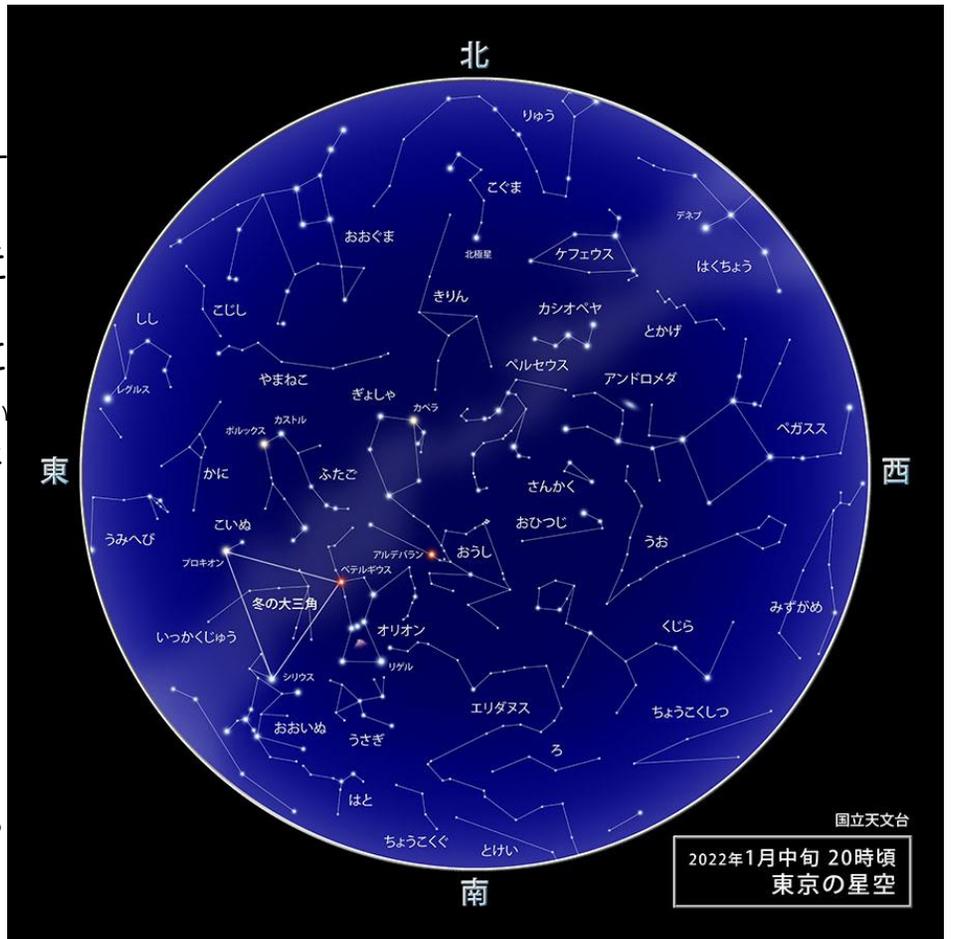
ぐんたんじかん
群(ぐん)のピーク(たんじかん)は短時間(たんじかん)であるため、

じぜんよしゅうたいせつがつぜん
事前(じぜん)の予習(よしゅう)が大切(たいせつ)です。1月(がつ)の前

はんひいこなんせい ていくう
半(はん)は、日(ひ)の入り(い)後の(こ)南西(なんせい)の低空(ていくう)に

すいせい どせい もくせい み
水星(すいせい)、土星(どせい)、木星(もくせい)が見え(み)ています。

かか
4日(か)から6日(か)にかけてこれら3惑



せい つき せつきん たの か とうほうさいだりかく すいせい み
星(せい)と月(つき)の接近(せつきん)が楽(たの)しめ(さ)ます。また、7日(か)に東方(とうほう)最大(さい)離角(りかく)となる水星(すいせい)も見つ(み)つけ(み)やす(やす)くな(な)ります。18日(にち)の満月(まんげつ)は、2022年(ねん)で地球(ちきゅう)から最(もっと)も遠(とお)い満月(まんげつ)です。

- 1日(にち) (土) (ど) 元日(がんじつ)
- 3日(か) (月) (げつ) 新月(しんげつ)
- 6日(か) (木) (もく) 地球(ちきゅう)が近日点(きんじつてん)通過(つうか)、しぶんぎ座(しぶんぎざ)流星群(りゅうせいぐん)
- 9日(にち) (土) (ど) 金星(きんせい)が内合(ないごう)
- 10日(か) (日) (にち) 成人の日(せいじんひ)、上弦(じょうげん)
- 17日(にち) (月) (げつ) 土用(どよう)の入り(い) (太陽(たいよう)黄経(こうけい)275度(ど))
- 18日(にち) (火) (か) 満月(まんげつ) (2022年(ねん)で最(もっと)も遠(とお)い満月(まんげつ))
- 20日(にち) (木) (もく) 大寒(だいかん) (太陽(たいよう)黄経(こうけい)300度(ど))
- 25日(にち) (火) (か) 下弦(かげん)



※天体観望会のお知らせ

がつ にち ど 1月22日(土)18:00~ 1月 8日(土)9:00から受付開始

でんわよくせい ていいん めい
電話(でんわ)予約制(よくせい) (23-1517) 定員(ていいん)40名(めい)

とうじつ うてん どんてん ばあい せいざかいせつ おこな
当日(とうじつ)が雨天(うてん)、曇天(どんてん)の場合はプラネタリウム(ばあい)で星座(せいざ)解説(かいせつ)を行います(おこな)。

かんらんりょう しょうちゅうがくせい えん こうこうせい いじょう えん
観覧料(かんらんりょう): 小中学生(しょうちゅうがくせい)150円(えん)、高校生以上(こうこうせい いじょう)320円(えん)